



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆について初めて聞くことがたくさんありました。原爆がおとされる候補になった都市は、①広島 ②小倉 ③長崎 横兵 新潟 京都でした。その中で一番強くおされた都市は、京都でした。原子爆弾投下都市の条件は、①直径5cmを超える、②平野であること、③空襲がなかったという条件です。

広島に投下された原爆は、「リトルボーイ」といいます。それは、少年ともいいます。「リトルボーイ」はパラシュートでおとしたのではなく、パラシュートにラジオリジンをぶらさけておとしました。回転しながらおちたけど、「リトルボーイ」の後ろにはねみたいのがついていたので方向が曲らずにおちたそうです。

1発目の原子爆弾投下は、広島でした。2発目は、長崎でした。

原子爆弾は、太陽よりも熱い7000℃でした。原子爆弾の真ん中の温度は、700万℃でした。

私は、池田さんの苦しみ、悲しみなどが強く伝わってきました。私が池田さんだったら、池田さんみたいに原爆でやられた人々をたすけたいです。

原子爆弾がおとされた時、熱線、衝撃波、放射線などがきます。とても熱く、怖いです。この原爆の話を中心に閉まっておきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今まで 平和について考えることがあまりなかった。だから
平和について考えるとき、なかなかすぐには思いつかなかった。

授業をしていくにつれて徐々に自分の中で平和を考えられるように
なった。

原爆先生の特別授業で詳しく原爆の話を知ることが僕は
とても楽しかった。本当の原爆投下は僕が思っていた以上に恐ろしい
ものだ。自分の頭の中で考えた平和という、実際に体験した
わけではないため、広い視野でとらえることはできなかった。しかし、体験者
の話を聞くと、今の自分の考えていた平和とは全く違う考え方が
できるようになった。被害にあった人を助ける人の心まで考えることができ
ていった。平和について考えるときに、すぐ思いつかなかった自分が、恥ずかしく
思えるほどだった。恐ろしい話でも、信じられない話でも、それを一度受け止めること
で新しい視点を見つけられること学んだ。

原爆の被害にあった方々の気持ちも少しでも知ることができたら良いと思っている。
この授業は原爆投下について学ぶ時間でもあったが、平和について考え直す
こともできる時間でもあった。この貴重な時間をふまえて、今後は平和に
生活していきたいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受け
ける時としてドキドキしてはたよ。
なぜかと言うと私たちは国語
の授業で原爆の話を学んだが、
まだ原爆のことについては知らない
ことが多いためだ。そして原爆先
生から話を聞いた時にその場
面を私は想像して恐ろしく思った。
また、候不甫になった都市の言葉や
原子爆弾投下都市の条件など
知らなかったことが沢山あったなかで
一番におどろいたことは60kgものウラン
の中がゴルフボールほどの大きさの1kg
しか使わずに広島を破壊す
ることだ。私はこの原爆先生の特別
授業を受講して私は改めて原爆の
恐ろしさを知り、もつと人の命を大切に
にしようと思えました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いてとても感動しました。
 原爆先生は、池田義三さん、八月六日に原爆が落とされた
 時は広島にいたとお聞きして、びっくりしました。広島に落ちた
 れば原爆は、もう原爆で事は、なんと5分で済まして
 原爆投下部隊の第一候補だった広島上エナジックという飛行
 機にのっていた。ワルボーンという名前の原子爆弾が落とされ
 ました。その時のワルボーンは、なんと、時速300kmあった
 らうので、その後、広島市民のほとんどが焼け、大やけど
 を負いました。そんな時にトラックに乗っていた義三さん
 が体験した話を聞いて心が痛みました。その話は、トラックに
 乗っている義三さんの兵隊さんに、大やけどを負った人が、
 目かきをしていて、目かきようとして、涙が落ちて、
 落ちて、いいお母さん、トラックの上から、いいお母さん、
 は、この話を聞いて、あつちめ、原子爆弾の恐ろしさを知り
 ました。辛いのは、大やけどを負った人が、目かきよう
 とした人は、目かきようとして、目かきようとして、お母さん
 辛いと思います。世界中でより早く、戦争がやめられて、
 より平和な世界にしたいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この話を聞いて、人が人の命を
「うばう」という事ほどひどい事は、
ないと思いました。

原爆先生のお話を聞くのは、
とても、おねがしめつけられてが
苦しかたけれどこの事実を
わすれないで、平和の世の中に、して
行かなければならないと思いい
ました。

一しゃんにして、大くの大切な命
をうばった原子爆弾のおそろしさ
を、痛感しました。

もう二度と同じ事が起き
ない様に、自分の近くの、

ほうか、ほう言から、なくして
行かなければならない
と思いました。

日本にも世界にも争いや戦争が
なくなりますように。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は原爆先生の授業を受けて命の大切さを
あらためて考えようと思いました。原爆は広島と
長崎に投下されました。そして、それによってた
くさんの人々の命が失われてしまったと言っていま
した。先生のお父さんは実際に戦争を体験
した方でお父さんの目録や話を読んでくださっ
ても勉強になりました。今までは戦争につ
いて無関心で元々心で『00戦争の味』とい
うものを見てやはり経馬食していないので実感
がなかったのですが今回の授業によって関心
をもったので、もう一言周知しようと思いました。
資料を使った説明はとても分かりやすかったです。
具体的な数字や絵などを書き添えてあるので読
みやすく分かりやすかったです。
僕は今回この授業を受けて分かったことたくさん
あり、そしてこれらの関心を広げてくれたこと
を、と自分で言明してあげたり昔住んでいた地域の
方々に話をうかがったりして関心の輪を広げたい
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

特別授業を受けて、改めて原爆のおそろしさが分かりました。助けを求めて差しのべた手のひんがはがれ落ちてしまった話や「兵隊さん、助けて」とシャツをひきはる被爆者の話から、原爆の威力が分かりました。広島原爆資料館の展示を見て、「きれいすぎる」と先生のお父さんがおっしゃったのは印象的でした。川の死体の焼却や、大やけどを負った人の手当てをしていた人から見れば、一般的には「ひどい」「無残だ」と思われる展示も、「きれいすぎる」と思えるのかと感じました。私は特別授業で「太陽以上の熱を出す原爆は、一瞬で人を消し去り、平和もなくなってしまう、おそろしいものだ」と理解することができました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆の事をニュースなどで聞
 いていてのがニュースで聞いたの
 とちがい、すごく、いやな事が起
 きました。衝撃波の速さです。音速は
 340m/秒ですが、この衝撃
 波の速さは 500m/秒なのです。
 そして、1945年8月6日、トルボ
 -イは600m上空で爆発し、直径が200
 mで外の温度が7000度で太陽1000度
 温度がたかいので、中の温度は100万
 度で、地面に熱線がといて、時には
 3000度という温度で、とまるで、降だ
 しのけんとたてていると思、れは。
 義三さんはたまたまドラム管に水
 が入っていたので、死ななで、たは
 の人は熱線と衝撃波で死んでい、た
 人が月日はすです。これからはこのドラム
 管をおこさないように人口が平和にくら
 せよう、な物が、と、カマは戦争は、ないと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、今回の授業で、色々なことを考えることができました。私は長崎の原爆資料館に行ったことがあります。とてもいい、写真や展示品や被爆者の証言がありました。それだけでもとてもわくわくした方がわくわくそうて、戦争は絶対にいやだと泣いてしまいました。でも、池田先生のお父さんの池田義三さんは、広島平和記念資料館の展示物を見て「きれいすぎる」とおっしゃいました。広島も長崎も同じだと思います。広島も長崎もとても悲惨な世界だったと思います。1945年8月6日さかいに、たくさんの人の人生が変わってしまいました。私は、亡くなった人のことしか考えたことがありませんでした。が、原爆病でそのあと苦しんだ方や亡くなっていく人を助けられず、その後の人生で思い出してはつらい思いをした人もいます。今は技術も飛達し、作ろうと思えばとんだに危ない武器もつくってしまいます。これから、二度と戦争があってはならないし、戦争でなくても人と争いたくないです。本当に本当に怖くて悲しくて泣いてしまいましたが、とても良い授業を受けさせていただけ良かったです。池田先生、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

今回はどうもありがとうございました。
原爆については、大半は勉強していたつもりでしたが、原子爆弾の投下され、爆発する時に、太陽より熱されることや、長崎に投下されたのがプルトニウム爆弾だということは初めて知りました。

『ENOLA GAY』というB29爆撃機の名前は、チベット機長の母親の名前からとった、という豆知識も知れてよかったです。そして、改めて原子爆弾の恐ろしさを知ることができました。お父様の経験したような地獄は、私には想像もできませんが、今回の授業のおかげで、その僅かな片鱗も理解することができました。最後には、『7000℃の少年』の意味も分かりました。本当にためになる授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日原爆先生の話しを聞いて、とてもか
なげが止まりませんでした。皮肉か、人を助け
ようとしても、皮肉か、ビリビリと破れて
いた事、爆心地に進むに従って、人間
がもう人間の形では無かった事。きっと
信じられない光景だったと思います。
なぜもっと早くに戦争をやめられなか
たのか。国民に罪はなかったはずで
す。原子爆弾は人間を殺して世界を破
かいる、人の手で作り、人の手で落と
されたことを思うと涙が止まらな
くなり、死にかましました。
今の平和が続いていくことを願いな
がら戦争の話を教えてくれること
が、とても大切なことだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、原爆でかえりきれない人々まで死んでしまふし、いりよくは自分であつていられぬおぼえがたつたです。また、池田先生の原爆に関するお話、しほ、広島市の原爆について7112.7000℃とゆう太陽よりもあつた温度の物が600mの高さにあつたら、いさの心で持てまふと思ひました。また、トルボ—の重さがたつて物としておもひもので長さが3.12mと、飛行してゐる物が落ちてきてゐるせいで、思いにたつたことを、ぼくも存じりかたと思ひました。

ぼくは、原爆で大勢の人が死にまふことになつたら、原爆は世をいにして、つらふとし、平和をさがしていけると思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業で一番
心に残ったお話が二つあり
ます。一つ目は、人間の体
中にある水が一瞬で蒸発し、
体が炭のようになり、衝撃波
で体が粉々になり、人間が
消えたように見えるという
お話ともう一つは、負傷者が
火傷で皮膚が溶けていて、助けようと
手を引っ張るとなんとも言えない
感触が残ったというお話です。
私はいつも今も生きている
体験者の方のお話つまり被害
者の方のお話ししが聞きませ
んでした。でも今回は、負傷者
の方を助ける兵隊さんのお
話、原子爆弾の恐ろしさのお
話を聞いたのを忘れません。そして平
和の種を沢山撒きたいと思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお父さんの実体験を聞
かせてもらい、原子爆弾の恐ろしさ
を改めて感じました。また、原子爆弾
は熱だけでなく衝撃波や放射線
という影響もでることを知りました。太陽
よりも熱い物体が上から落ちてく
ると当時の広島市に住んでいた人は「怖い
と思う間もなく死んでいったと思いま
す。ゴルフボールくらいの大きさのウ
ランで約14万人の人が死んでいった
かと思うとますます原子爆弾の恐ろしさ
が感じられます。これからは戦争の恐
ろしさを感じたので、戦争につなが
るところからやらないように気を付け
たいと思いました。また写真や映
像はすべて怖かったけれど、これが事実な
んだと思ひ知させていただきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

テレビや新聞などで、原爆^{じゅこう}についてのお話は聞いたことはありますが、池田先生のお話では、化学的な面からも原爆のことを知ることができて、視野が広がった気がします。原爆の温度や衝撃波の速さなどを、身近な物と比べることで、とても分かりやすかったです。

また、池田先生のお父さんの体験^{たいけん}についてのお話はとても怖かったです。最後のビデオの義三さんのお話でも、その体験の悲惨さはとてもよく分かりました。私は、お話を聞いて怖い^{こわい}と思って終わりにするのではなく、その悲惨な状態を二度とくり返さないように考えていきたい^{考えたい}と思います。

先生のお話では、当時はリトルボーイのウランの量の $\frac{1}{60}$ しか燃やせなかったということですが、今の技術でウランを60kgも一気に燃やしてしまつたら、当時の被害の60倍もの被害がでる^{被害がでる}と思うと、本当に怖いです。広島のことを教訓として、そんなことは絶対に、なんとしても、食い止めなければ^{止めなければ}ならない^{ならない}と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕はこの特別授業で、たくさんのことを学びました。

一っ目は原子爆弾のことです。

広島に投下された原子爆弾、「リトルボーイ」は全長

3.12m、重さ5tの爆弾で爆発した時には直径200m

の円状のものになり太陽の表面温度よりも遙かに高い

温度にまでなりました。地表付近でも3000℃にもなり、人間

は一瞬のうちに水分がなくなり炭の塊になってしまいました。

二っ目はウランの量のことです。

あんなに大きな被害を残したのだからウランの量も多いのかと

思っていました。本当は全く違いました。実はゴルフボール約

1個分の量のウランしか使っていたのです。すごく驚き

ました。

池田真徳さんの父、義三さんの話の中で一番印象に残った

のは熱線が皮膚がはがれたり、おけどで目も鼻もどこか

どこにあるかわからない人間の形ではなくなると、「兵隊さん、助けて...

と言っている所です。僕はつい、耳をふさいでしまいました。

僕はこの授業で、やはりこのようなことはいけないことだし、戦争が

どの大きなことからいじめなどの小さなことまでをなくし、平和な

世界を築くことをより強く思えるようになりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/23

私は今まで、原子爆弾は自分から遠い話のような気がして想像もできなかった。しかし、原爆先生、池田先生の特別授業を受けて、池田先生のお父さんの実体験の日記を読んでくださったこともあり、原爆の投下や被害の様子がよくわかり、少し身近に感じられた。そんな原爆先生のお話の中で一番嫌だと思ったのはアメリカが結果がわかりやすい都市を選んだこと、広島と長崎で原爆の実験をしたことだ。実験のせいで14万人、広島の人口の40%もの人が死亡してしまいました。そして、生き残った人も、家族や親しい人が亡くなったり、被爆で今も苦しんだりしていることだ。人の死んでしまうような、生き残った人が苦しむようなそんな実験は絶対にしてはいけないと思う。家に帰ってから、家族で話し合ったがこれからも、命の尊さ、原爆のむごさを考え、自分達の出来るところから、平和につなげていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

僕は原爆げんぱくについて何も知らなかったです。
 なのにどうも何かに悩んでいるたけでした。
 原爆げんぱく体験者になりきた解説かいせつは、とても
 分かりやすかったです。テレビやマンガが本が
 見たようなものではなく、原爆げんぱくはとて凄く
 悲しいものだと分かりました。たった1枚のボタンで
 何もかも消してしまふ、原爆げんぱくは、もはや、この世に
 いらないと思うこともできました。人の尊い命
 をうばう原爆げんぱくを使おうとした人の気持ちが
 分かりません。広島ひろしまの何もかもをなくしてしまふ
 原爆げんぱくの1000倍ものいかに、原爆げんぱくをもて
 いる国は、人の命を全く考えていないと思ひ
 ました。想像を絶する原爆げんぱくのおそろし
 さは、実際に原爆げんぱくを見た人にしか分かりたいと
 思います。でも、その人々の気持ちが少しは分か
 るように、でき子できこ向けの力をしようと思ひ
 ました。平和の大七おほななさをよく知る事が
 大事だと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/23

私は、今日の授業を受けて、原爆の恐ろしさを感じました。7000℃もの熱線をあびて、皮ふがただれ、体中に大やけどで激痛に悲鳴をあげながら、どんな思いで亡くなっていったのか... 考えるだけで恐ろしくてたまりません。私は、被爆された方の事は考えたことはありませんが、その死体を焼く人の事は考えたことはありません。もちろん被爆された方はつらかったでしょう。でも、兵隊の人も、助けてあげたいのになにもしてあげられない、目の前で人がたおれていくのを目の当たりにするなんて、とてもつらいと思いました。私は、経験した事はないけれど、もう二度とそのような苦しい思いをする人が無くなるといいと思いました。戦争は、どちらが勝っても、どちらが負けても、多くの人々が亡くなったり、心からいい気持ちになる人は絶対にいない事は変わりません。それなのに戦争をしてしまって、生き残った人も、心や体に深い傷を負ってしまった事をしっかり受けとめて、もう二度と戦争をしない世の中が必要だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは今日の原爆先生の話を聞いて改めて原子爆弾は怖くてあじない物だと思いました。そして前半のお話はすごく興味深かったです。原爆が投下されたその直後、池田義三さんがどうしていたか原爆ドームの近くはどういう状態だったのかがすごく分かりやすく教えていただいたのでとても感動しました。

後半はどうして広島と長崎に原爆が投下されたのかも改めて教えてもらい、くわしく分かりました。広島に投下された原子爆弾の名は「リトルボーイ」という物です。リトルボーイはパラシュートで来たとあるまんがに書いてあったと言っていました。それはまちがいでパラシュートで来たのは「ラジオシティ」という気象情報を確認するための物だそう。さらに原爆が投下されたすぐに熱線、衝撃波、放射線がおり、死した人は当時の広島の人口は35万人で死者は14万人、被爆者は24万人それを計算すると死亡率が40%で5人に2人が死して下るということ。ぼくは

原爆の怖ろしさを思い、死した人を救ってあげたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆ドームは、原爆がおとされてから、
ずっとこわい思いをしてきたんだな。
と思いました。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分 広島

昭和20年(1945年)8月9日 午前11時2分 長崎

リトルボーイ → 約3m 約5tの原爆。

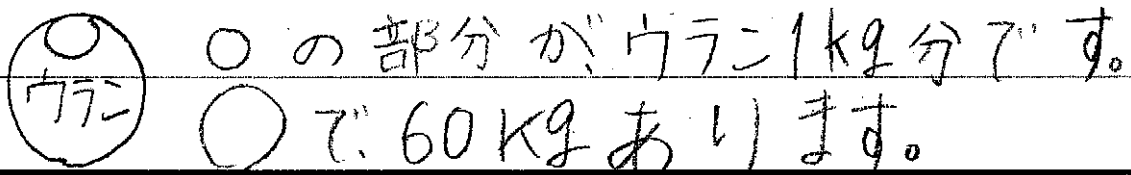
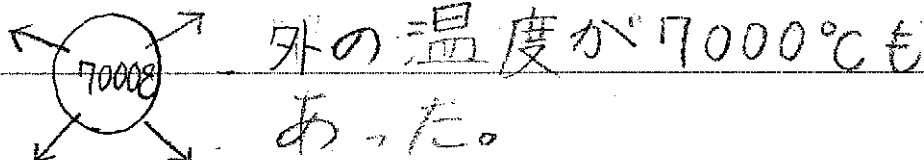
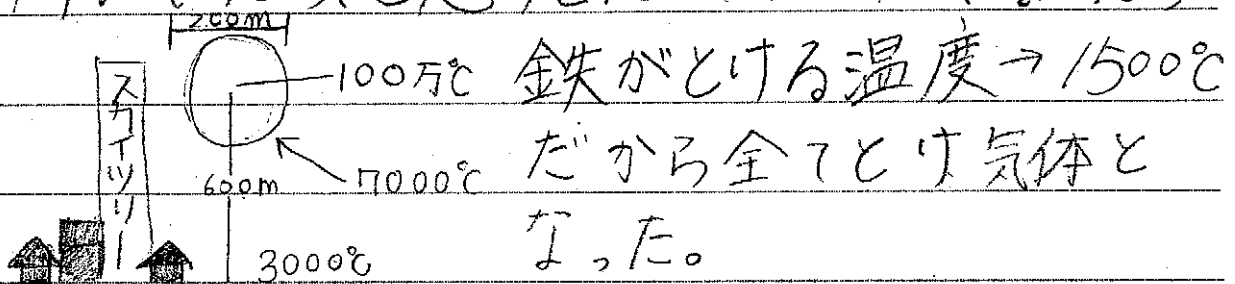
広島に投下された。

広島市人口 35万人 被爆者24万人 死者14万人

そのうちの2万人はあとかたもなくなくなった

感想

わたしがもし、原子爆弾が投下された場所
所にいたら、と思うと、とてもこわくなります。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日の原爆先生の話を聞いて、本当の原爆についてもよく分かったし、なにより原爆の本当の怖さを学びました。その火暴弾の、長さは、よこが、3.12mで、重さが糸の57で、そんな重いものをよくもてたなと思いました。広島市に原子爆弾が投下されて、その中心は100万℃で、外側は、9000℃という太陽より熱い温度で、そこは灼熱地獄だ、たたりと思います。そして傷口に蛆虫がねん匹もいると聞き、毛ぢあるなど、思いました。そして広島に投下されて、原子爆弾の名は「リトルボーイ」とい、そのリトルボーイと、のせてたひこうきの機長の名は「フバット」といい、ほくはそやつをうらみました。そして爆弾をおとす国は色々あるのに、なぜ日本の広島をねらったのか、ほくには、すこく疑問に思、これから世界で、そのような事がないように、心にくしみと、けし、平和な世界を目指したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

わたしは、原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のおそろしさ、こわさを改めて感じた。テレビなどでよく見ても「こわいと思うけど」、原爆先生の話とテレビの話では全然こわさがちがうなと思った。今日の原爆先生の話はこわく、少し気持ち悪く…わたしが想像していた原爆先生の話とは全然ちがった。印象に残ったところは、「助けて」と被爆者に言われ手を差しのをしたら、被爆者の肉がはがれ落ちた。というところがわたしの心には特に残っている。わたしは、今日の授業で「命がこんな簡単にうばわれてしまうのは、本当にもったいないと思う。だから被爆者の人の分まで、がんばって生き、命という大切なものを粗末にしないようにしよう」と思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/23

僕は原爆の話を聞いて、今があることは幸せだ
と思いました。けれど昭和20年の人に悪いけど思いますが。
先生の言葉だけで想像ができてしまう。そんながまん
のできないような話でした。人間の姿ではないような
こんなセリフに僕はゾッとしました。たった1つの3mほどの物
が広島をおそい。人を殺す、殺したアメリカはゆるせな
いと思います。僕もゆるせない。けれど、戦争をしない
ためならがまんしかありません。最後のセリフ
で僕は心が痛みました。原爆の悲惨さや酷さ
、悲しみが伝わってきました。池田義三さんは、辛い
体験をしてくれているなと思いました。ふたつ僕は友達
をおぶってまゝが死体を背負うなど、もし僕がた
ら気がどうにかけていると思います。僕は、
原爆先生の特別授業を受講して、戦争原爆
の悲惨さ、平和の大切さを改めて感じ
ました。戦争のきっかけなどつくりはしてい
ないから僕は身近な所から話を聞きたい
と思ふ。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/23

私は、今回原爆先生の特別授業を受けて、
原子爆の実態を改めて知ることができた。

私は今年の夏休みに目黒区の派遣事業で広島に
行った。昭和20年8月6日8時15分の記録を後世の
人々に伝えるための展示室として平和公園内に平和
記念資料館(原爆資料館)がある。

私はそこを見学しに行ったときに、中ほどに展示されていた
給水場に向う親子を人形で表しているものを見た
瞬間、涙がこぼれてきていた。しかし、そのようなもので
すまないのが真の現実であったことは知りたくなかった。

(ただでさえ、こわくて涙がでたのに…)

でも原爆先生は私達に「父はきれいすぎる」と
おっしゃった。実際に体験した方が言うことなので、本当
なのだろうとは思いますが、これ以上ひどい状態を
展示してはならないのかもしれない。

みんなが当たり前な生活を送るために、自分にできる
ことを考えて実行しなければならぬことを今日は、
特別授業で学んだ。

＊本日は、私達のためにたくさんの方を教壇に立たせ、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

わたしは、こんなに、くわしく広島^{じゅこう}の原爆の話^{じゅこう}を聞いたのは初めてでした。昔の広島は、今の広島と違って、^か瓦^れ石^んが^ん本^んしかない、太陽が空からしゃく熱の暑さをたたきつけてくるまさに地獄だなと思いました。

わたしがとても^い悲^いしいな^い。と思った所は、皮膚がはがれている所や腕がとれてしまうなどの残虐なシーンで今も心にそのことがまだ残っています。

わたしが一番気になった事はかけの事です。

かけはどや^やって、今まで残っているかが知りたいです。今、わたしは、もう売られていない、1700歳の少年の本を^い読^いんで^い見^いたい^いです。

戦争は、人し人を殺し合うというバカバカしいけんかをやめて今のよ^ような平和で生き生きと^いて^いる世の中にしようと思います。

今^い後^いわたしが大^い人^いになっても今の世の中み^いたい^いな平和^いが^いいつ^いまでも^いいつ^いまでも^いつ^いいて^いほしい^いです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、
原爆は思っていることより恐しいということです。

私が、今まで考えていた原爆は手や足がもつれ、

大きがやけどなどをおって亡くなった人が多く、悲しい

ことと思っていました。しかし原爆先生から教えてもらったら

全くちがってました。教えてもらった原爆とは、

7000℃の太陽より熱い温度で一瞬にして亡くなる

人々、生き残った人も多くは亡くなってしまふという

ことです。「助けて…助けて。兵隊さん。」という声

が聞こえ手をさしのべてくる人達を荷台に乗せよう

すると吐息がハッロリとはがれずるりとおちてしまふという

ことが一番印象に残っています。また、虫が吐息に付くと

いづのも怖くて印象に残っています。原爆資料館で

「甘すぎる。」の一言がとてよくわかりました。

自分が体験していなかったら原爆のことをあまりわから

なかったということではなく、自分の考えが甘すぎたから原爆の

ことをわからなかったということだと思います。これからは、原爆、

戦争のことを考え直し、正面から向き合ってみよう

と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほくは、原爆先生の話を聞いて
とてもお話を聞きたなと思いました。

理由は、ゴルフボール一玉で広島を
こわしてしまかすです。

ゴルフボールはあんなに大きくて
7000度でビックリしました。

ほくはビデオを見て人がいっしょで
スミにたれてしますがたを見てあんないっし
おでたえるなんですごいなと思いました
人が全身かけこをあっているすがたは
想像するのがすごいです。

ほくがもし原爆にまてこまたら

一人のうらにスミにたれてしまふたな

思いました。

原爆はもうおとしてほくなりとおま
い至した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原子爆弾がリトルボーイという
名前だということも初めて知りました。
そして、原子爆弾のウランは1kg、
ゴルフボール一個分で広島がとて
痛々しい姿となり、死亡した方がた
さんいると知ったので原子爆弾はと
てもこわい物なので二度と投下しな
いでほしいと思いました。原子爆
弾は1kgでもおそろしいのに60kg
だともっとたくさんの方が亡くなるし
日本ごと無くなってしまうかもしれな
いと思いました。太陽は6000℃な
のに対し、7000℃や100万℃なのでと
ても暑いし苦しいと思いました。
そして、池田義三さんは被爆者を救
いたいけれど救えない人間ではない
ような姿の被爆者を見たので、悲しい気
持ちをいっぱいなのだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原子爆弾は、とてもおそろしいと思った。

まるこげになつて皮がはがれて人の肉が見えるなんて考えられない。まわりの人達が「動けて、動けて、なんて今の日本では考えられないと思う。

今私達は「死ね」などぶつうに言つてしまつて、いるけれど、原爆でせくなつてしまつた人は、死にたくないのに原子爆弾によつてせくなつた。だから「死ね」という言葉を簡単に言つては、だめだと思ふ。

「死ね」という言葉をもっと重い言葉に認識しようと思ふ。

ぼくは、原爆を少し軽く考え過ぎていた。広島の人があんなに苦しい思いをしていたなんて思つてもいなかった。だから周りの人が少しでも苦しまないよう努力したい。努力したい事は、大きな争いをとめることは、今の自分にはできないと思ふので小さな争いから苦しむ人をへらしてほきたいと思ふ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は4年生くらいの時に長崎に行って平和記念像を見たことはありましたが、特別授業によって、あらためて怖いと感じるようになりました。

今まで聞いた話は被爆者の話などだったので、今回の兵隊の経験を聞かせていただけだったので、本当に大変だったのだなと少しわかるような気がしました。でも、私だったら死体が山ほどある所で働くなんて無理だと思うので、すごくこわい思いをたくさんしたのだらうなと思いました。

また、原子はくたんの14倍の核はくたんを世界の国々が保有しているのは絶対にやめてほしいなと思います。今の東京に太陽のようなあつさの球が落ちてきて、建物も粉々にし、ばく風を風け、人間が灰になって消えてしまたらどうなるのだらうかと思、てい配にナりました。

灰になって消えた人は、まだいいが、皮ふにやけどを負って「たすけて」と言っていた人は、とてもっらいだらうと思、ました。

このようなことは、あつてはならないことだと実感した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、これまで原爆がよそ
ろしいものだといふことは知
っていたけれど、それがどのよう
なさん害をもたらしすのかも知
りませんでした。しかし、原爆先生
のお父さんが実際に経馬食した
話をきいて、原爆はものゝけ熱線とよ
うげき波、放射線をだすものだとい
って、寒気がしました。

その話の中で、びびくして重傷をおった
人たちのことを「はなしもの」
と表現していたのがとても印象にのこ
りました。

しかし、まだ世界には、この原爆よりもつ
強い力をもった原爆があると知り、そん
なものを使われたとしても危ないと思い、
かく兵器がない世界にはやくなっ
てほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は池田先生のお話を聞いて、今まで知らなかった原爆の事がわかりました。

原爆について、もと知ってなりました。

池田義三さんが博物館で「きれいすぎる」と言っていたというのが印象に残りました。理由は、博物館に展示されている物もき、と小布いのに「きれいすぎる」というのは、当時の被害者がとても悲惨だ、たのだなと思いました。

当時はウランを60kgつんでいても燃焼したのは1kgだと言っていたが、1kgが14万人の死者をだすウランの威力はすごいと思いました。現在は、当時よりもすごい威力なので、これからは戦争がなければいいと思いました。

池田先生のお話を聞いて改めて戦争の怖さがわかりました。

池田先生

先日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほとんどは原爆先生の話を聞いていて、心の
 そこから原爆さんがこおくなりました(ヒカッ)の-しん
 で町が破かいけるのはそうでもない
 人の皮膚がどんどんはがれていくと聞けばこ
 ちくてもたまりませんでした。それと同時に
 戦争はなにがあってもおぼしくないと
 強く心に感じました。3分間の動画では原爆
 のいびくをしり、話では町が3000℃になる
 と聞きもうなみだりがでそうになりました。
 今の技術では二枚の数千倍の力をもつ原
 爆を作ることもできるがそんなことをしたら
 地球の人口が半分以上減、てしまいやがて
 地球がほろびるかもしれません。この「おけかえの
 ない地球」はなにがなんでもゆりたいた
 ず。そして、いつか自分も後世の人々に戦争
 のこおさ、そして平和のありがたみを感じて
 この地球でもう永久に「戦争がないうち
 平和な世の中を作、ていきたいと思
 います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回初めて知ったものや名前しか知らな
か。その意味が分かりました。

私の祖父は88歳です。広島市の原爆がおまたと
き、兵隊をやっていた、広島市のよこがわ駅にいました。
その時、しんじにかけてくれた人によって、今も元気
です。

私は祖父からあまり、原爆の話をきいていなかったの
ですが、今度あたとまにきいてみたいと思いました。
また、こんな近い所にも、原爆にあいひせんなじょうき
をみた人がいたのにびっくりしました。

原爆先生の話をきいて、外国の方がきいてか
く、かきをつくらないよにうったのかなと思
いました。また、原料の60分だけであれだけな
たのなら、全てもえていたら、日本はどうなっ
たかを考えて、おそろしくなりました。

短かいビデオで、外にいる人は、いしん
きえてしまった所を見て、今起きたら、昔の何倍、
何十倍の人がなくなってしまうのかと思
いました。祖父などから原爆の話をきいて、もっと知りた
いのであ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/23

ぼくは、今日池田眞徳さんに特別授業を受けました。

池田さんには、原爆のことや原爆の被害などを教えてもらいました。

その中で、最も印象に残ったのは、使われたウランの量がゴルフボールぐらいの大きさだったことです。ゴルフボールほどの大きさで、あれほどの被害をうけるんだとしたら、原爆の中のウランが全て使われたら広島はもう再生できなくなっていたと思います。当時の技術者がそこまでよかったと思いました。

だけど、原爆が爆発した時、広島が3000度になったことにはおどろきました。鉄がとけるのが1600度なので、広島のもは、すべてとけました。池田さんには、

3000度になる→空気がふくらむ→冷える→真空になる→周りの空気がおしよせてくる→上昇気流が発生→がれきが飛ぶ。という黒いけむりの正体を教えてもらいました。広島をこわした原爆、その技術がさらに進歩したものを、世界中の国が持っていることをして、戦争は、いやだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の爆発は太陽よりも表面温度が熱いものが上空にできたことだと知って原子爆弾のいかにとてもおどろいた。原子爆弾の1000倍ぐらいのい力がある爆弾は何を燃やして爆発させるのが知りたかった。太平洋戦争中の兵隊さんはいんぐだつたことを知れ、原子爆弾の被害の大きさを実感した。原子爆弾よりもい力が強い爆弾をいろいろたくさんある国が現在も持っていると思うとぞつとする。体の中からうじ虫がわいている、とかを聞いているだけでぞつとした。また、兄から水素爆弾というものを聞いたことがあるのだが、どのようにくみて爆発しているのか原子爆弾とっしよに調べてみたい。小さい原子の集まりでもとても大きい爆発をおこすとかでできちゃうのはすごい力だと思った。もうこれ以上は爆弾を作らないでほしいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

昨日までは、「原爆って、なんなのかわかんない」と思っていたが、今日の授業のおかげで、はっきりと知ることができ、とても良いことをおぼえてもらったな、と思っています。

まず、実験のためにだけに、日本（広島など）が犠牲になつたことを知り、人間が人間を実験に使っていることが、理解できませんでした。本当に、世の中はこんなふうなことを思いました。また、原爆の威力が、思ったよりも、1000倍以上 びっくりしたので、悲しかったです。威力が大きい人のほうが、人じゃないんじゃないか、と思ふようになったのでした。そして、とてもびっくりしたのは、3分間の動画でした。なぜかという点、原爆が投下されて、熱線がおそってきたあと、1分間が経つたときに、人のすがたが、いっしょんで、炭のようになり、消えてなくなったシーンがめつたからです。

おどろかすまで、何も言えませんでした。

私は、この授業を通して、自分の言ったことに責任をもちたい、と思いました。（暴言をほいてしまった時。）そして、命の大切さを改めて、暴言に、気が付けた、と思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて

ぼくは原爆先生のお話を聞いて本当に戦争は怖いと思ひました。初めに原爆先生が長い話で「けし」聞いてくださいと、たとえ、い事が「き」て正直思ひました。だ「けし」話を聞くうちにまじいなあと思ひてきて、けし「しんけん」にまじりていまして、い「しんけん」と分りやすく話してくれました。ぼくは、色々と想像をしながら話を聞いていきました。あはかあるところ、表現のところ、まじいところ、まじいところ、思ひました。そんな罪もな「しんけん」が殺されていく、戦争はまじいと思ひました。そして戦争はしてはくなく、思ひました。最後に見た映象はすこくかなしくなりました。そして、原爆先生のお父さんはまじい幸運のもちました。お思ひました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆について色々とお教え下さり、ありがとうございます。今まで、原爆について分かっていなかったけれど、僕が知っていた以上の恐ろしさでした。今回知って、一番おどろいたことは、原爆の温度です。その表面温度は太陽よりも熱い7000℃です。地上に到達したときでも3000℃もあります。3000℃の熱線が体に当たるなんて想像できません。

今回の授業で原爆がどんなに恐ろしいことをしたか分かりました。今の日本は平和だけれども、もしもそれが今だったら...と考えるととても怖いです。

ほしはあの苦しい九日間を過ごした三義さんは、「すごい」と思いました。大変な方だったろうなと思いました。

ほしは、日記を元にした本を言売ってみたりと思いましたが、またこれをきっかけに、原爆について調べてたり、平和について考えたりしていきたいと思います。

今回は、分かりやすくまた、くわしく教えていただき、本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/27

原爆先生の特別授業を受講して、私は原爆のもたらすひびきを
改めて思い知らされました。それはなぜかという、教科書で
原爆のひびきについて書かれていたり、テレビで終戦記念
日などに原爆のことについて取りあげていたりとは何かと目にし
て「原爆はおそろしいものなんだよ、というくらい理解しかでき
ていなかったよな気がしたからです。現実はずっと厳しく、
一瞬のうちに命がうばわれてしまうというのを知り「これが本当に
日本で二度も起こったのか」と悲しく、つらい気持ちになりま
した。原爆と関係のある資料・映像や原爆先生の父親の当時
の日記からは、大勢の人口がむざむざな死をとげているそんな気
がしました。もちろん、アメリカ側も戦争をやめさせるには…と苦渋
の決断だっただろうし、日本側もこのまま引き下がれない
という思いが政府の心におかたのだからだと思います。でも、原爆
を落とされた広島・長崎の人達は何で命を落とさなければな
らなか。たのめ…そこまですて本当におかたのだからかと、原爆
が落とされた日を見つめ直すことでそう思いました。そして、
原爆先生にはこれから、たくさんの人に原爆のもたらすひびきを
伝えていってほしいと思いました。また、私は「平和」に
ついてこれから考えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆先生の言話を聞き、大きな衝撃を受けました。原爆のお
よび、戦争の残酷さ、そして、このようなことを深く理解せずに
平和を唱えてきた私達のおろかさなど、多くのことに心を打た
れました。

実際に原爆が落ちたすぐ後の広島の様子を見た池田義三さん
の本に書いてある、原爆が落ちた直後の広島の様子や助けを求
める人々、その人達に対する池田さんの思いは、全部本当に心苦し
ものばかりでした。

また、特にショックだったのは、原爆の威力や、それによって犠牲にな
った人たちが数字で表されているのを見た時です。改めて、その
数を見た時は、胸がはげさけるような思いがしました。たった一個の
原爆でこんなにも多くの人々の命がうばわれてしまったことか
ととても悲しかったです。そしてその命のおとし方の説明を聞いた時は
思わず、身をおおいたくなるほどひどいものでした。

約90分間の先生の言話を聞き、今回本当に大切なものを教えてもらった
ような気がします。原爆が落とされたという事実が目をそむけず、
きちんと向き合って、平和について考えていこうと思いました。

そして、最後に、池田さんの思いを聞きながら、これからは、平和な社会
をつくりたいと心から願い、世界へも、伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今日3・4時間目に「原爆先生」の授業を
うけて、悲しさでいっぱいになりました。

しかし、一方で感謝の気持ちでもいっぱいになり
ました。

前半、原爆先生は原爆先生のお父さんのお話をし
ていました。今日の授業を受ける前に、私は原爆で
みんなが亡くなったのだと思っただけですが、生き残った
という人がいるとは知らなくて、びっくりしました。そして、
兵隊さんたちが頑張っただけで負傷者を助けようとしたもの
の、残虐な結末になってしまったことに対してものす
ごい怖さを体験しました。

後半では原爆に使われた物なども説明してくれま
した。私が特におどろいたのは、ゴルフボールぐらいの
大きさの元でも、広島をやけつくしてしまう所です。

私は3・4時間目にこの「原爆先生」の授業を受けて、
改めて、「平和」そして「安全」が大切なものかを知
りました。そして、それを伝えに来てくれた先生にも、こ
のような貴重な体験をもうけてくれて、心から感謝してい
ます！



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ものがない、どうかされた、原爆が
爆発すると、200mにもな子ので、びっくり
しました。また、その中心が、百万
度、そのすぐ周りで、7000度、
人がいる、ちめんでは、3~7000度
で死ぬので、かいた人などにはあつて、た人
は、一瞬間で亡くなり、黒くあとがのこ
るだけでした。

原爆のころは、東京都に近い、
神奈川県もねらわれていたの
でこわいので

原爆の資料にしろ、かきとけて、い
ておとしたものがあつたけれど
本当はもっとこわいものときいて
こわくなりました。

これは、この話をきいて、戦争の怖さ
を、一層知ることかてまたの、集団
的自衛権が行使されたら、怖いな
と思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

今回、私は原爆先生のお話を聞いて、とても衝撃を受けました。私は「原爆が広島に落とされ、原爆ドームが出来た」ということしか知らず、被爆者の方や広島がその後どうなったのか考えたこともありませんでした。

学校でまだ中学年くらいのころ、「はだしのゲン」というDVDを見ました。その時、あまりの怖さに見ている事ができませんでした。しかし、今回は6年生として、その被爆者の方々のつらさや悲しさを知り、平和についてよりよくなるために考えていきたいと思い、お話の中でとてもリアルで怖い表現などがでてもしっかり聞いてみようと思っていました。

私が原爆先生のお話を聞いて一番おどろいた事は、リトルボーイの原料であるウランの燃焼した重さが $\frac{1}{60}$ kgにしか満たない事です。ゴルフボールと同じくらいしかないのに、あんなに大きな被害をもたらした原爆は、本当に残酷でおそろしいものだと思いました。

これから、この原爆先生の特別授業で学んだことを生かしながら、今平和に生活できていることに喜びを感じ、これからまた同じ様なことが起きないようにするためにはどうしたらいいのかもっと真剣に考えようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

10 R3

ぼくは、父やその父母が広島に住んでいたの
で、原子爆弾の話などは少し聞いたことがありま
す。でも、今日の授業で、今までには軽に気持ち
で知っていた原爆が、全くちがうものに思えま
した。

今日の授業で、先生は、広島市内の人口の約40%が
死亡したと教えて下さいました。原爆に入っ
たら、60kgで、そのうち焼けたのは1kgだけ
です。

ゴルフボール位のたった1kg、原爆の中のた
った60kgが焼けただけで、14万人も人が
亡くなり、24万人が被爆したのです。原爆
60kg全部が焼けていたら、こんなことにな
ったか分かりません。

また、先生の父の手記の中で、ひささや
現在では広島は原爆の1000倍もの力を持
つかく爆弾を保持している国があることを知
りました。

もし、かく戦争などが起ると、地球はこわ
れませんか。また、あんなひどいことが
ないよう、かく兵器などは早く処分し、平和な
世界になることが、どれだけ大事かが分
かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業をうけて、最後にはとてもぼうぜん
とした気分になりました。それは、原爆先生が話してくれた、
あのおそろしい広島の前爆についての出来事です。
原爆先生のお父さんが実在体験したことなどです。
実在に「原子爆弾が投下し人々が七なっていた」という
言葉だけでは言いきれないほどおそろしいことが分かり
ました。授業をやった原爆この授業をやった原爆、想像
ではなかなか考えられないほど、違ったのでびっくりしま
した。リトルボーイが落下されたのは地上から9632m
上から6kmもはなれた地上から600mで爆発
し、多くの人々が七なり、とてもこわいと思いました。
しかもその亡なり方も太陽は6000℃だけど、
あの爆発は7000℃で太陽をこえる熱で人々は
いしゆんのうちに体の中の水分が蒸発されて炭になり
灰になり消えてしまっていたり、川に飛びこみ、川が
ふ。とうして、そのまま人もゆであがってしまったりしてとて
も見ていられないほどのじょうまようだったと思います。
また全身がやけどで、ふれるとぶいかわけたりして苦しそうで
痛そうでかわいそうです。私は原爆は想像で考えた事よ

もおそろしいことなんだと分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろしさを改めて強く感じました。それと同時に原子力発電所の被害がどういうものだったかを考えさせられました。どこにいたかが生死をわけることにおどろきました。原爆の被害にあつたひとたまりもないなとは思っていましたか、どこにいたかで違いが出てくるとは思いませんでした。また、救助にあたる側にもたくさんつらいことがあると知って、被害を受けた人だけが「つらい訳じゃないんだ」と思いました。はだしのゲンは見たことがありますか、実際の映像を見たり、当時の広島の話をしかり聞いたことがなかったので、良いきかいになつたと思います。教室に帰つてからも、みんな原爆の話がはげまきだつたようで静かでした。私もそうでした。でも、お話を聞いて良かったと思います。実際に戦争があつた時に生きていた人、覚えている人はもう高れいだつたので、話を聞いた私達だけが「つらいことがあつた」と伝えていかなければならないなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて、平和ってとても大切ななと思いました。それに原爆ってとても、こわいこと言うことをあらためて分かりました。私が思ったことは、なぜ「リトルボーイ」を落としたか、です。どうして落とす意味があったのか、落として良いことかあったのか分かりません。そのせいで多くの人の命がなくなってしまうということも分かってもらっています。私はきょう原爆先生に聞いたお話を思うだけでせなかか「ゾクッ」とします。ただお話を聞いただけなのに、こわがるということは、もっとこわい、すごい、つらいと思います。平和を保つこととはむずかしいこと、平和にするとむずかしいと思っても、こらえなければなりません。日本、世界が平和にならなければいけません。もう、戦争も原爆もおこってほしくないです。私の未来のずっと先まで平和でいてほしいと、心から私はそう思いました。これから原爆先生にかんづけていただきたく思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日授業をうけて頭の中の整理がなかなかつきませんでした。はじめ、戦争といふと「ひさん」「大変だった」というようなキーワードが頭にかひますが、実際の日記(体験)とは比べられないほど、私のにんきは甘かったです。原爆一つでたった一つのビルボードほどのウラで広島は本当に一人のウラに炎につまみ消えていったこと、人々の「熱い」「痛い」の声や死体のほかには何ものもなかったこと、これが私にとってはおとつけないショックでした。(同じ人間であるし、生きているのは同じ地球なのに核について人の感情は存在するのだろうか、どうすればこまの考えにとつくと)と思つて、私はただ果敢とこの事実をかたぬるので精一杯でした。熱さで焼けたお木が皮ふをつかんだときの義三さんたちの思いや、おけのわからぬ不安な事態がつつたきんちうは戦争がない今の日本の自分達にはわからないような気がします。一つの核がいったんで、とつてもとつてもたたく人の命をうばい苦しめていた。熱さにもたえ、川にいても水は自分の体温でふとうするたれにも助けはもらえない、「地獄の底から」の叫び声。苦しみを思うてまもなく消えていった人々がいたのだと知りました。生々しい語り息が何度も詰まりました。7000と太陽より1000ともあつた軌線につけたおの影の出は見ていられたのかと不安な感じがしました。でも、現地では彼に向きあつた人がいた。そのことは忘れないと教えます。そしてさいごにショック的だったのが、原爆の資料館で義三さんが発した「綺麗にする」という一言です。(大変だった、おれが)私な思いは今が平和だから逆に他事の外に考えてしまつてゐるのかも知れません。体験した人にとって、戦争はつらく悲しいものだから、向きあうやうきも、必要と思はれたりました。なかつたこととしてつらさを忘れるのではなく、これから大人にむかへていくにつれて自分の解しゆくをまじり固め、先生のように発言できるよ外に存くらしいに戦争について学んでいきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話しを聞いて、最初はそんなおもしろくもないし、興味をもてる話でもないと思っていのですが、しても興味かきもて、おもしろか、たのび、くりしました。この他にもおもしろいことが一つあります。一つ目は、原子爆弾が太陽の表面温度より高くなるということでは、なぜなら、太陽は、表面温度が、6000℃なのに原子爆弾は表面温 7000℃つまり1000℃も高いし、また頭の上にいざなり、太陽より熱い物が落ちてきたら、びくりにしてゐるひまもないほどの速さだ、たと思ふからです。

二つ目は、死者が14万人もでたと言ふことでは、なぜなら、もともと広島市の人口は35万人だ、たのに被爆者をひくと11万人におります。また、ちんちんがせくな、ためとす、悲しいことだ、と思ふからです。

私は、広島市の原爆のミュージアムに行つても、とくめい話しをじっくり読みたいです。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

わざわざきてくださりありがとうございます



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の特別授業を受講して、当時の人々は、ものすごく苦痛をされていたのだな、と思へ今自分の生活が普通と思えていたのが、裕福に思えてきました。

僕は今の特別授業で色々な事をおさわりしました。

たとえば広島に原爆をおとした理由、原爆の中に入っている物などたくさんのお話を教えていただきました。

今日特別授業で原爆に対する思いが変わりました。

今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

前半の池田さんの体験から、そして、後半の原爆の説明で、原爆は何なのか、そして、おそろしさが分かった。

まず、被爆した人で生きている人は奇せきたまたまということが分かった。何かのかけなど、にいたりかんじょうな建物の地下のトイレにいたりとか、くうせんがたが分かったということ。

原爆を落とす所の候ほがどろろであったということ、なんとなく分かっていましたか、具体的に理由が知らなかった。たゞけい教えてもらえてよかった。

条件

・木まの都市

・空(う)の被害がない

「なんとなく、しか分らなかった原爆の意味が、具体的に、分かって良かった。この授業を生かし、歴史に役立てたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

僕は、今まで、テレビや本などの特集などで、原爆について見たことがあります。しかし、ひ爆者からみれば、原爆に対する感じ方を知りませんでした。今回、原爆先生の特別授業を受講して、ひ爆者を目指す側のつらさを知ることができました。また、原爆のことを色々教えていただいたことで、原爆をつくってはいけなないと、改めて感じました。原爆先生のお父さんは、原爆によって、全身が焼け、皮が剥がれ、自分に目当てを求める人々を目の当たりにしても、目当てられないときの気持ちをとてもかしく、つらいと言っています。僕は、助きたいとは思っていても、目当てることができないという気持ちがよくわかりました。また、原爆先生が、お父さんと行った広島での原爆についての博物館に行った時、お父さんが、「こんな生き辛いものじゃない」と言ったのを聞いて、原爆の生き辛さは、見て、実際に体験しないとわからないのだなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ほくほく 3.4 時間 目の原爆先生の特別授業を受講して、戦争のつらさ、悲しさで心がいっぱいになりました。たった一発の原子爆弾で広島市の人口の35万人のうち24万人はひびき、14万人は死んでしまい、死亡率が40%なので、原子爆弾が何個もおとされてしま、たら世界はとてつもなくほろびてしまうと思います。広島におとされた原子爆弾「リトルボーイ」はウランの量を60kgふくんでいましたが、広島をはかいた火然火焼した量はた、た1kgだったので、リトルボーイにふくまれている60kgすべてが火然火焼してしま、たら日本どころか日本付近の国まではかいてしまうと思います。ほくほくビデオを見て、二度と戦争は絶対にしないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の原爆先生の話を聞いて、
昔の戦争はすごくひどいものだ。たんだなと
思いまたもし私が戦争の現場にいたら、
助けたいけど助けられないというものが
戦争なんだなと実感しました。

今日の原爆先生の父さんはすごく生々しい
現場にいたんだなと思いビデオで涙を
流していた原爆先生のお父さんの気持ちを
私は分かる気がします。

私達6年生は戦争を経験していないけど
戦争がひどいなものと分かりました。

私もこの戦争のつらさを下級生にも
教えていきたいです。

またアメリカの子供達にもこの恐い真実を
話せば戦争をしないでいいんじゃないかと
思います。

「平和」について考え直していきたいと
思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

色々これまでに戦争にふれる機会はありましたが、なかなかわけが理解や調べる事ができなかったのとでも良い経験になります。一番心に残ったのは資料館での貝という物像があり、池田さんがきれすぎる。と言っていた事でした。あの像でも目を背けてはいけなうのに、現実がもとおそろしいと聞き、おどろきを通りにしたいいごショックを受けていました。

又、自分達の身も危険なのに、他の人も助けてあげられる兵士さんはすごいなと思いました。

・爆弾が5ヒもあるなんて知らなかった。

・ゴルフボール1個で広島町の町をはかいた。

・候補地がいくつもあった。

など色々知らなかった事が知れて良かったです。そして、このような嫌な事実があるからこそ、私たちは、核兵器を世界で0にする事を目指し、戦争に対しての反発をしていかなければならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の原爆先生の特別授業を受講して多くのことを学んだと思います。8月6日1945年(昭和20年)にアメリカが広島にある原子爆弾を投下させ一瞬にして町は破壊され、年末までに死者約14万人を出した話を聞きさらに実際にその悲惨な光景をまのあたりにした池田義三さんの話を聞いて今までは教科書やテレビなどで見ただけだったので思っていたのよりもさらにひどいことが起っていたんだなと思いました。人がもう人間ではないほどやけど皮がやぶれ、どろまみれだったと矢口で言葉にできないほどのものだったんだとあらためて思いました。一番おどろいたのは7000°のことについてです。太陽(6000°)よりもあつくそれが近かってくるほうだと聞き想像しただけでもおそろしいです。原爆のことについて教えられる良かったです。このことはずっと覚えておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはよくテレビなどで戦争の悲惨さを
 語り番組が、例として広島に原爆投下な
 どが、出ますがやはり本当は丸の目で見た
 よりももっと残さずで済んだ。

いくら戦争が教しくても、よにも市民に
 原子爆弾を落とすのは、毒だ。

さらに、核兵器平和について調べたので
 印象に残った。ぼくは原子力(リ)は、(リ)

のウランが60kgの1kgが爆発した。た
 めに、くりしました。あんな大仕事があった。

1kgのウランだけなら60kgではじょうぶな
 のだ。うしろを、身ぶらいました。

毎日で戦争はもう二度起きないよ願
 たいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、実際に原爆のお話を聞いたことがなかったのでも楽しみにしていました。今の日本は、「平和」であるが過去には、悲しい現実があります。私は、原爆先生の心こもったお話を聞きとても、ぞっとしたり、今までは、なかったような感しよくがしました。広島に爆弾が落ちた場面ではとても苦しい気持ちになりました。同じ人間だと正直思いませんでした。「戦争」という辛い経験をした人やしていない人はとても大きな違いだと思いました。

この話を聞いて「生きている」ということは、あたり前のよう下当たり前じゃないと改めて思いました。

約人に2人が生き絶える。その言葉を聞き、とてもびっくりしました。戦争というのは正直いつ体験していないの分りません。けれど原爆先生みたいな人がいたからこそ今の日本がある。私はそう思います。

今回のお話を聞いて、「平和」について改めて考えしてみました。でもやはり「平和」とは、戦争がないことと安全に暮らせることだと改めて思いました。

素晴らしい授業、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業がすごい量だと思いました。なせならぼくは被爆で死んだ人たちの思いが強かったからです。しかし、この特別授業を聞いてその人たちだけでなくその原爆がもたらす光景を見た人々もすごいっつらい思ったことを知りました。ぼくたちにとって原爆がもたらす光景や 7000 名の熱風や放射能なんて見たことも聞いたこともありませんでした。

ぼくは戦争のおそろしさより原爆のおそろしさを改めて強く考え直しました。原爆先生のお父さんが言っていた原爆の時の人々の例が「忘れずある」という言葉が心に残りました。ぼくは多分原爆先生のお父さんはこれよりもっとおそろしくかくな光景を見て来てずっと生きてきた人だと思っています。

戦争を体験した人々は、いずれ死んでしまえば戦争のおそろしさを知る人はなくなります。しかし、このような戦争や原爆などかもう二度と起こらないように未来の人達か忘れないようにとぼくは思いました。もう日本は戦争はしていませんが世界にはまだ戦争をしている国があるので戦争も怖くおそろしさを久し早く戦争を止めて平和になりたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、広島の実爆ドーム、鹿児島の特攻隊の基地跡に"な所"と"を行きました。しかし僕が行ったのは、まだ戦争をよく理解してない頃であり、覚えていません。そしてこのような機会を頂きとても良かったです。

僕は戦争を体験した身ではありません。しかし戦争を止めよう運動したりするのはできます。僕は今回受講して戦争の悲惨さを改めて感じ、日本に危機が起きた時、戦争だけは"やめよう"と伝えて...と思いを



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は広島や長崎の原爆の投火によるひがいについて、学校のビデオで「はだしのケシ」を見た時にそのひがいを一度思いました。しかしそれ以来あまり原爆によるひがいについてはくわしく考えることはありませんでした。でも、今日の原爆先生の話(実体験についての本)を聞いて今度は兵隊として助ける側からの視点で原爆のおそろしさを感じる事ができ、とても貴重な良い機会だと思いました。私が先生の話聞いて一番心にのこったのは「兵隊さん、助けて」と黒い穴になり生きているのか死んでいるのか分からないうちの人たちが自分たち(兵隊)の乗っているトラックの荷台にのろうと必死になっている所です。私はこの場面でもうどうしようもなく黒い穴になり皮がむけたりしていてもそれで「それが人のおと生かぬきた」という人間の生きたかと思われ感じられました。今日このような原爆先生によるお話をきいて、より戦争、原爆はこわいものであるという事を前よりも強く実感です。これからの生活に今日学んだことを活かしていきこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゆうこう
原爆先生のお話を聞いて、戦争の悲しさを
知りました。

表

今日は宮前小学校り来て、下さりありがとうございます。

私は戦争の事を本などやテレビで見たり読んだりした事しかありません
でした。

正直な所、こわくて、悲しくて、ひびんで涙が出そうになりました。

一番ビックリした事は、「7000℃もの熱さを、直せつあたふ人がいた」と
言う事です。

他にも、先生のお父さんがトラックをまてる時、ドラム管で命が助かた
と言うのもおどろきました。

エノラ・ゲイは、には、ラッパ、ジュテカが持っている事や回転しながら
飛んだり羽が目的の場所にそむけてくれる事も知れて良かった
です。

最後に……

今日、映像&お話を聞いて、改めて、戦争の悲しさを知りました！

他にも、たくさんのお話なども分れました。

先生のお話がとっても分かりやすかったです。

やっぱり戦争は良くない事だと思うので、二度と

おてはいけないと思います。 🐾 ありがとうございます🙏🙏 🐾 🐾



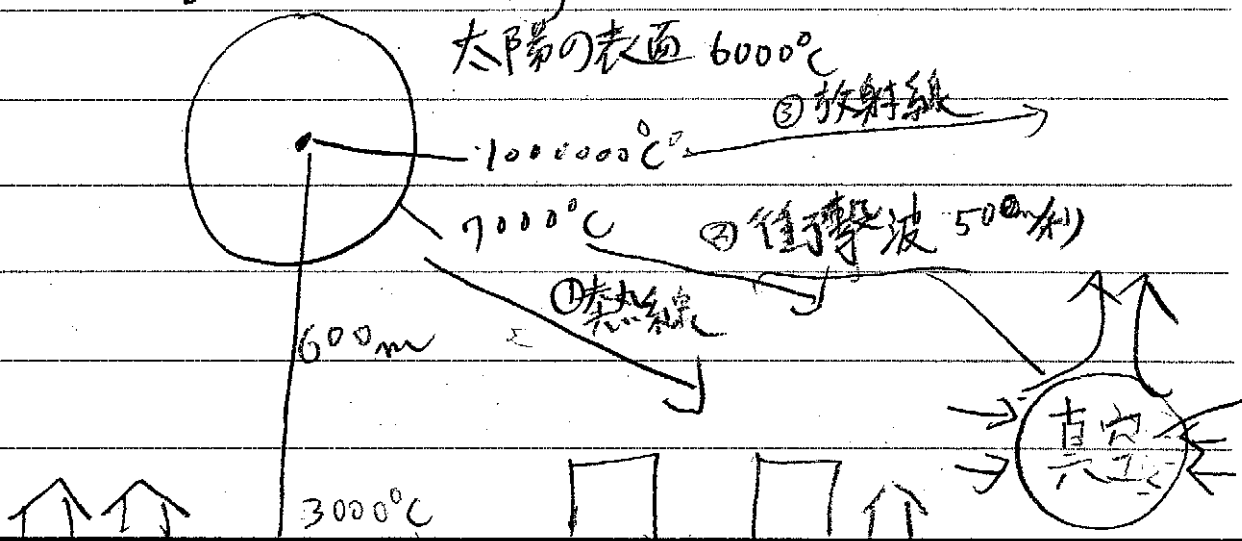


原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いて「みんなが思っている以上に核爆弾はおそろしい物」ということが分かりました。そして一番おどろいたのは「爆発した時は中心は太陽の表面温度をこえる1000000℃で真下には3000℃の熱_{じん}がかかる」ということと、「爆心地の近くにいる人は体の中の水分が無くなり炭素になり炭になって消えてしまふ」ということである。特に「あるビル」の入り口の所に人が座っていた跡が炭となり「残」っている」ということにおどろきました。このように原子爆弾の力は強く二度はこの爆弾を人を殺すために使われなければいけなかったことが分かりました。そしてこの爆弾の話を聞いて二度このおそろしいことをおこしてはいけなうと思いました。



原子爆弾の熱は500℃



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私の祖父も戦争を体験しました。私の祖父はまだ子供で先生のお父さまのように兵隊さんではなかったのですがアメリカの戦闘機に追われて機関銃でうたれそうになったそうです。私はそのことをきいて恐慌におびえていましたが、今回先生のお話をきいて、もっと戦争に対して怒りや憎しみをおぼえ、恐慌を感じました。原爆などという世界に不必要なものを作って破壊力を知るためだけで人々の命を粗末にするなんてありえない話です。14万人の方々が亡くなり、その人々を助ける方々も悲しくつらい思いをしているという事はあってはならないことだと思いました。原爆も戦闘機も共通することはみな悲しくなることだということがわかり、今までのように戦争に対する恐慌という考えだけでなく、戦争が今おこったらという想像や考えをもつように、後世に伝えていかなければならないと思いました。今日は貴重なお話をうかがうことができ、ありがとうございます。先生のお父さまのような一生懸命人の命を助けようとして、つらい思いをしている人を見たという事を一生忘れないで、今後平和な世をつくっていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

10/23

広島原子爆弾については教科書の記述や写真、授業の中で見た「はだしのゲル」の描写、新聞やニュースを通して当時どのようなことが起きたのか理解してはいたが、

しかし、今日の原爆先生の話を聞くと、僕が思っていたこと、認識していたことは、表面的な知識としてだけの理解でしかなかったことも痛感地獄は

原子爆弾投下後の広島の様子は聞いていただけで月句が苦しくなりました。

たった一発の原子爆弾によって、爆心地では多くの人の命が一瞬にし

てうばわれました。少し離れた地域でも、熱線、衝撃波によって、正に地獄のような光景が広がっていたことが話を聞いて目に浮かびました。

いつもの生活を送っていた広島の人々が、突如として悲惨な焦土の中に突落とせ、その当時の人々の苦しみ、悲しみは言わず知れません。

さらに原子爆弾は、爆発そのものの被害だけでなく、被爆による後長く続く苦しみを引き起こし、広島、長崎に残された爪痕の深さを想像を絶するものがあります。

原爆先生の言葉一つ一つが、直接の被害を受けた父親の体験談であり、印刷された文字とは全く違う、生の体験に基づいた重みがありました。

また、そうした体験談を通して、原爆先生の平和への思いがしみじみと伝わってきました。先生の話を聞いたことで、これまで当たり前のことだと受け止めてしまっていた「平和」について、その大切さや有難さをより強く感じる事ができるよう

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

なりました。思います。

平和を守り続けるために僕たちができることは今日聞いた先生の話を忘れることなく、平和への願いを強く持ち続けることだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆
 というのは本当に怖くて恐いものか
 という事がとても良く分かりました。ぼくは
 原爆というの自分にとって関係ないと思
 っていたけれど今回の特別授業で
 自分にもとても関係している事が分かりまし
 た。特にぼくが恐いと思ったのは空中で600
 mほどになると3000℃になるといふことが取
 れるという事がいちばん怖かったです。
 しかも鉄が溶けるのは1500℃なのにその倍
 が地上に落ちて来るといふのも、とても怖く
 怖いです。しかもその原爆(リトルボーイ)の衝撃波
 は500m/secという事も恐いと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/23

私は、原爆先生の特別授業を受講して、
 原爆先生は、自分の息子の解馬受したことを、語りつく
 ことはいいことだと思ったり、私は、こんな悲しい
 現実を、深世代に語りつづけたらと思っても、自分だけ恐く
 おそろしくなってしまうと思うから、池田真徳(原爆先生)は、
 そのようなことができる人だ、すごいと思いました。
 又、私は、原爆のことを深くしらなければなら、「エノラ・ガイ」
 のことや、「リトル・ボーイ」のこと、原爆投下都市の条件のこと、
 候補に選ばれた都市、色んなしょうけんや、「エノラ・ガイ」がどうやって逃げたのか、
 目的地、おぼれたいがい、伊原行け波の速さ、や義三さんの残した
 言葉、且つて人がらの手紙のふいふ、実際の映像や写真から、原爆のこと
 が知られてよかったです。
 また、目黒区立宮前小に来て、次の六年生に聞かせてあげてくださり
 ありがとうございます。
 今日は、いろいろのことか知られてよかったです。今日は、本当に本当に
 本当にありがとうございます。